

2025年3月期 第3四半期 決算説明

三菱ケミカルグループ
2025年2月6日

<2025年3月期 第3四半期 連結決算>

・ 決算サマリー	3
・ 連結損益計算書	4
・ 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益	5
・ コア営業利益（全社）増減要因	6
・ 事業セグメント別 コア営業利益増減分析	7
・ 非経常項目	12
・ 連結キャッシュ・フロー計算書	13
・ 連結財政状態計算書	14
・ 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移	15

<参考資料①>

・ 25/3月期 トピックス	17
・ 連結損益計算書 四半期別推移	21
・ コア営業利益増減分析	22
・ 事業セグメント別 コア営業利益推移	23
・ 事業セグメント別 コア営業利益率推移	24
・ 非経常項目 四半期別推移	25
・ 主な市場動向	26

<参考資料②>

・ ファーマセグメント 研究開発の状況 等	28
-----------------------	----

2025年3月期 第3四半期決算

- 第3四半期の事業環境は、地域や業種により需要動向に濃淡はあるものの、概ね安定的に推移しました。ディスプレイ関連は中国における補助金政策もあり上期に続き下期も好調に推移し、半導体関連は生成AI関連需要の牽引により緩やかな回復基調にあった一方で、自動車や食品関連市場等の一部地域・分野においては軟調さがみられました。
- ケミカルズ事業において、MMAやベーシックマテリアルズ&ポリマーズを中心に前年同期に比べ売買差が改善し、スペシャリティマテリアルズは数量差が改善しました。また、グループ全体でコスト削減効果を期初想定 of 87%まで積み上げたことも利益に寄与しました。その結果、売上収益は前年同期比3%の増収、コア営業利益は34%の増益となりました。
- 親会社の所有者に帰属する四半期利益は、非経常項目において構造改革関連費用を計上したことなどにより、前年同期比43%の減益となりました。

2025年3月期 業績予想

- 第3四半期までのコア営業利益は、11月1日公表済み通期予想に対し85%と順調な進捗となりました。一方、第4四半期は、スペシャリティマテリアルズ及びファーマにおける季節要因に加え、MMAモノマーの売買差悪化等が見込まれることなどから、通期予想は2,900億円を据え置きます。
- 親会社の所有者に帰属する当期利益は、円安に伴う第3四半期における為替差益の影響などもあり、通期予想を上回る進捗となりました。第4四半期も複数の事業構造改革案件を検討しており、非経常損失の計上が想定されることから、同様に通期予想の520億円を据え置きます。配当予想についても、期末配当金予想16円、年間配当金予想32円を据え置きます。
- 引き続き、新中期経営計画 2029における基本方針「事業選別の3つの基準」と「規律ある事業運営の3原則」に基づき、ポートフォリオ改革と収益改善に向けた取り組みを断行してまいります。

連結損益計算書

	143.8	153.0	9.2	6%
為替レート (¥/\$)				
ナフサ単価 (¥/kl)	67,900	76,300	8,400	12%
			(億円)	
	24/3月期 3Q累計	25/3月期 3Q累計	増減	増減率
売上収益	32,451	33,315	864	3%
コア営業利益 *1	1,839	2,472	633	34%
非経常項目	286	△ 577	△ 863	
営業利益	2,125	1,895	△ 230	△11%
税引前利益	1,918	1,615	△ 303	△16%
四半期利益	1,443	1,068	△ 375	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	1,039	594	△ 445	△43%
非支配持分に帰属する四半期利益	404	474	70	
*1 内、持分法投資損益	65	71	6	

コア営業利益は、営業利益（又は損失）から非経常的な要因により発生した損益（事業撤退や縮小から生じる損失等）を除いて算出しております。

事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益

(億円)

	24/3月期 3Q累計		25/3月期 3Q累計		増減			
	売上収益	コア営業利益	売上収益	コア営業利益	売上収益	増減率	コア営業利益	増減率
全社	32,451	1,839	33,315	2,472	864	3%	633	34%
スペシャリティマテリアルズ	7,769	194	8,128	344	359	5%	150	77%
アドバンスフィルムズ&ポリマーズ	3,475	208	3,584	295	109		87	
アドバンスソリューションズ	2,701	32	2,670	107	△ 31		75	
アドバンスコンポジット&シェイプス	1,593	△ 46	1,874	△ 58	281		△ 12	
MMA&デリバティブズ	2,566	26	3,089	326	523	20%	300	-
MMA	1,916	17	2,388	303	472		286	
コーティング&アディティブス	650	9	701	23	51		14	
ベーシックマテリアルズ&ポリマーズ	8,223	△ 149	7,738	△ 121	△ 485	△6%	28	-
マテリアルズ&ポリマーズ	5,943	△ 24	5,949	92	6		116	
炭素	2,280	△ 125	1,789	△ 213	△ 491		△ 88	
その他	1,290	△ 11	1,211	3	△ 79	△6%	14	-
ケミカルズ事業	19,848	60	20,166	552	318	2%	492	820%
ファーマ	3,379	554	3,491	545	112	3%	△ 9	△2%
産業ガス	9,224	1,225	9,658	1,375	434	5%	150	12%
グループ事業	12,603	1,779	13,149	1,920	546	4%	141	8%

【在庫評価損益】	24/3月期 3Q累計	25/3月期 3Q累計	増減
アドバンスフィルムズ &ポリマーズ	1	0	△ 1
マテリアルズ&ポリマーズ	10	8	△ 2
炭素	9	△ 93	△ 102
合計	20	△ 85	△ 105

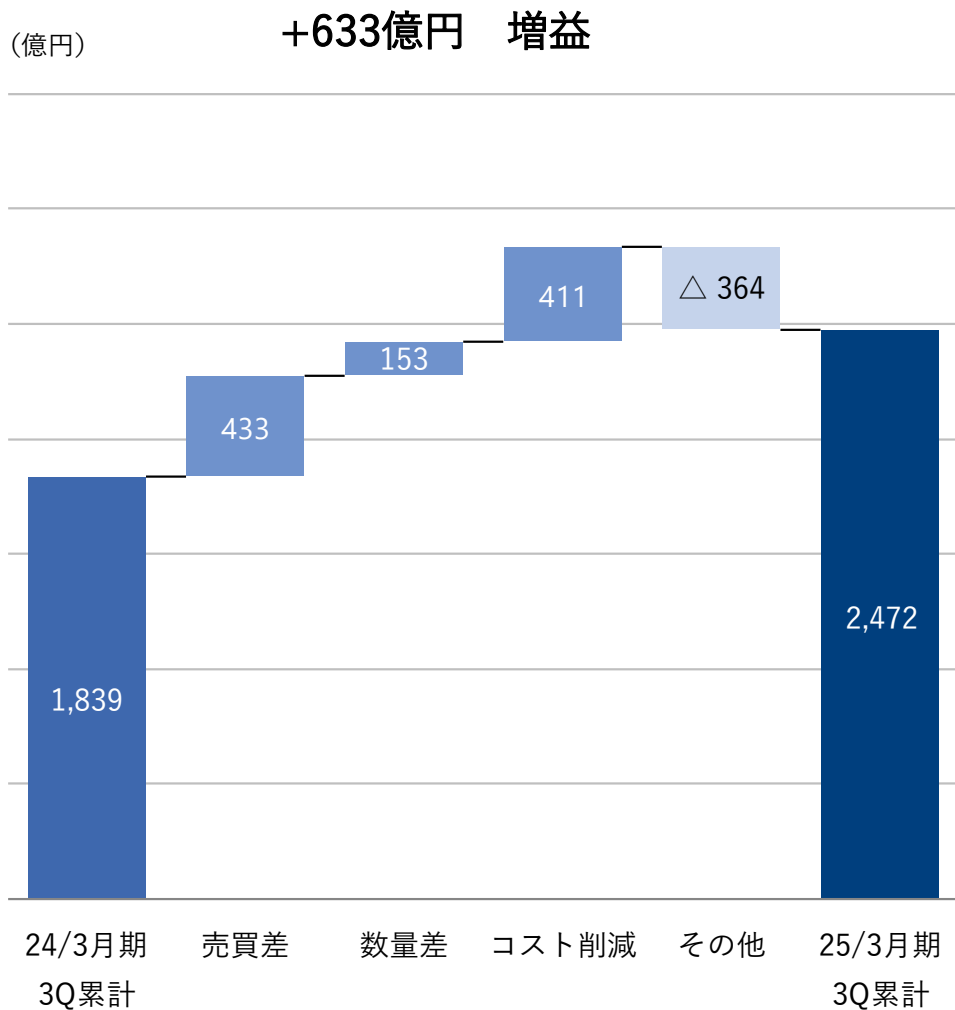
* 25/3月期よりセグメントを、「スペシャリティマテリアルズ」、「産業ガス」、「ファーマ」、「MMA&デリバティブズ」、「ベーシックマテリアルズ&ポリマーズ」、「その他」へ変更しております。あわせて、一部の事業の所管セグメントを見直しており、比較情報としての24/3月期実績を組み替えております。

* セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

* 24/3月期実績の新セグメントベースの組替後実績値を精査した結果、5/15発表時点の数値から一部変更しております。

* 2024年11月に公表した「新中期経営計画 2029」と整合させ、セグメントの記載順序を当3Qより変更しております。

コア営業利益 (全社) 増減要因



	24/3月期 3Q累計	25/3月期 3Q累計	増減				
				売買差	数量差	コスト削減	その他 *1
全社	1,839	2,472	633	433	153	411	△ 364
スペシャリティマテリアルズ	194	344	150	21	124	76	△ 71
MMA&デリバティブズ	26	326	300	265	41	27	△ 33
ベーシックマテリアルズ&ポリマーズ	△ 149	△ 121	28	149	7	42	△ 170
その他	△ 11	3	14	4	1	26	△ 17
ケミカルズ事業	60	552	492	439	173	171	△ 291
ファーマ	554	545	△ 9	△ 15	25	11	△ 30
産業ガス	1,225	1,375	150	9	△ 45	229	△ 43
グループ事業	1,779	1,920	141	△ 6	△ 20	240	△ 73

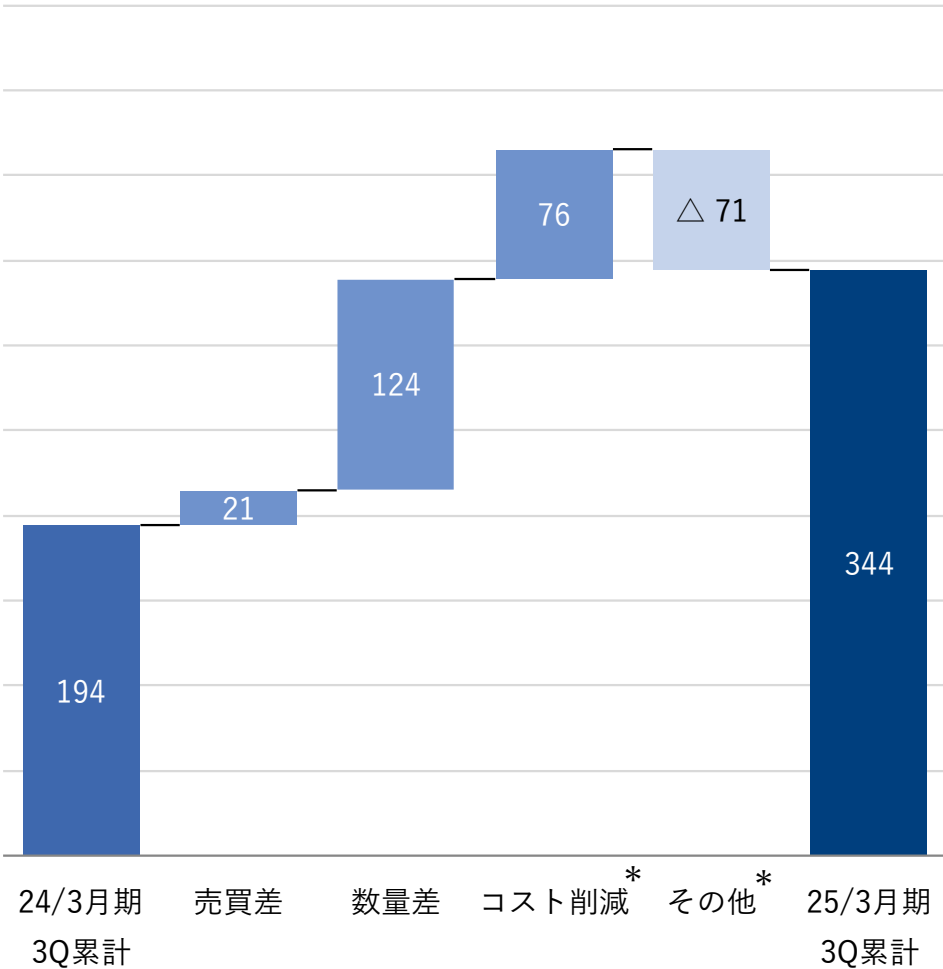
*1 在庫評価損益差△105億円・持分法投資損益差+6億円等の金額が含まれております。

為替影響	108	132	-	-	△ 24
うち換算差		98			

スペシャルティマテリアルズセグメント コア営業利益増減分析

+150億円 増益

(億円)



アドバンスフィルムズ&ポリマーズ (+87)

売買差
(-)

(+) 販売価格の維持・向上による各種製品の売買差改善
(-) バリア包材用途等における売買差悪化

数量差

(+) ディスプレイ用途の需要増加による増販

アドバンスソリューションズ (+75)

売買差

(+) 販売価格の維持・向上による各種製品の売買差改善

数量差

(+) 半導体関連用途における緩やかな需要回復

アドバンスコンポジット&シェイプス (△12)

数量差
(+)

(+) 高機能エンジニアリングプラスチックにおける緩やかな需要回復
(-) 炭素繊維の一部用途の競争激化による減販

* コスト削減・その他内訳

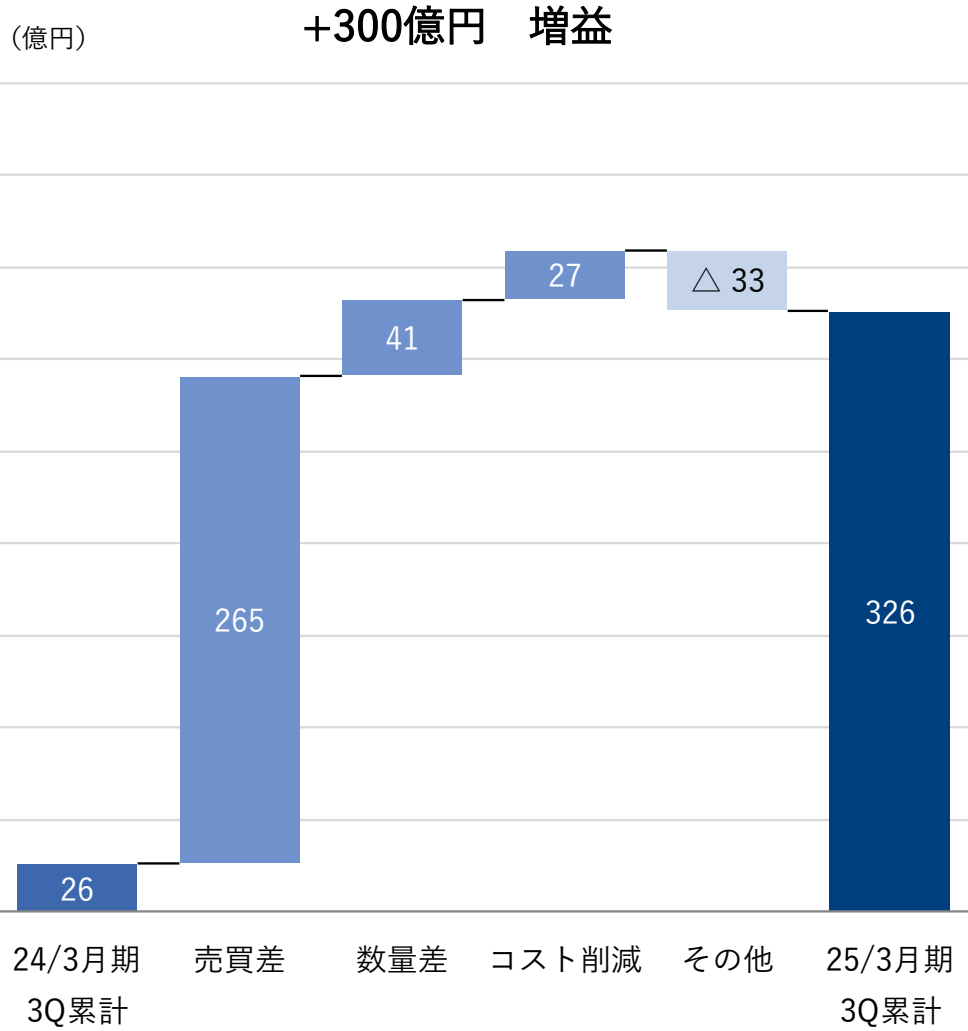
コスト削減

(+) 事業構造改革、調達最適化、生産性向上等

その他

(-) 労務費等の固定費増加、
CPC社連結子会社化に伴う無形資産償却費の増加 等

MMA&デリバティブズセグメント コア営業利益増減分析



MMA (+286)

売買差 (+) MMAモノマー等の市況上昇による売買差改善

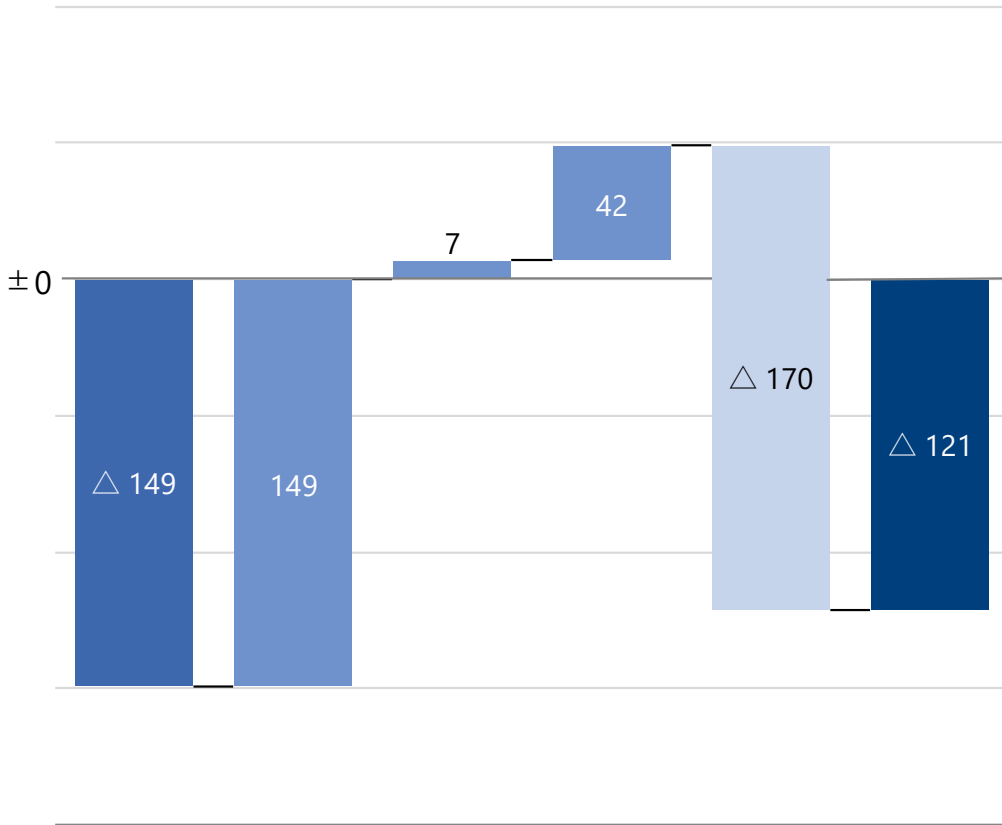
コーティング&アディティブス (+14)

売買差
数量差 (+) 塗料・接着剤・インキ・添加剤用途等の売買差改善、需要増加

ベーシックマテリアルズ&ポリマーズセグメント コア営業利益増減分析

+28億円 赤字縮小

(億円)



マテリアルズ&ポリマーズ (+116)

売買差

(+) ポリオレフィンの価格改定時期ズレ

炭素 (△88)

売買差

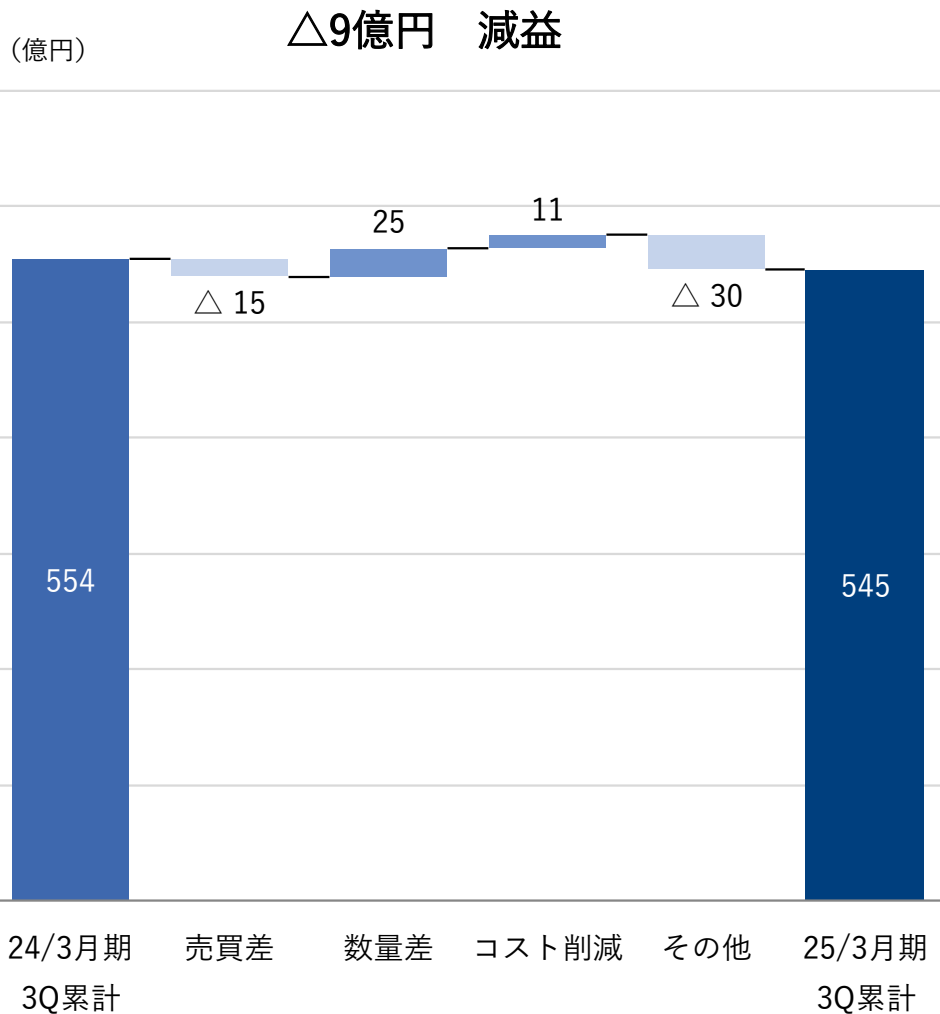
(+) 原料価格下落等によるコークスの売買差改善

その他

(-) 原料価格下落に伴う在庫評価損益の悪化

24/3月期 3Q累計 売買差 数量差 コスト削減 その他 25/3月期 3Q累計

ファーマセグメント コア営業利益増減分析



ファーマ (△9)

売買差

- (+) 海外医療用医薬品の為替影響
- (-) 国内医療用医薬品の薬価改定影響

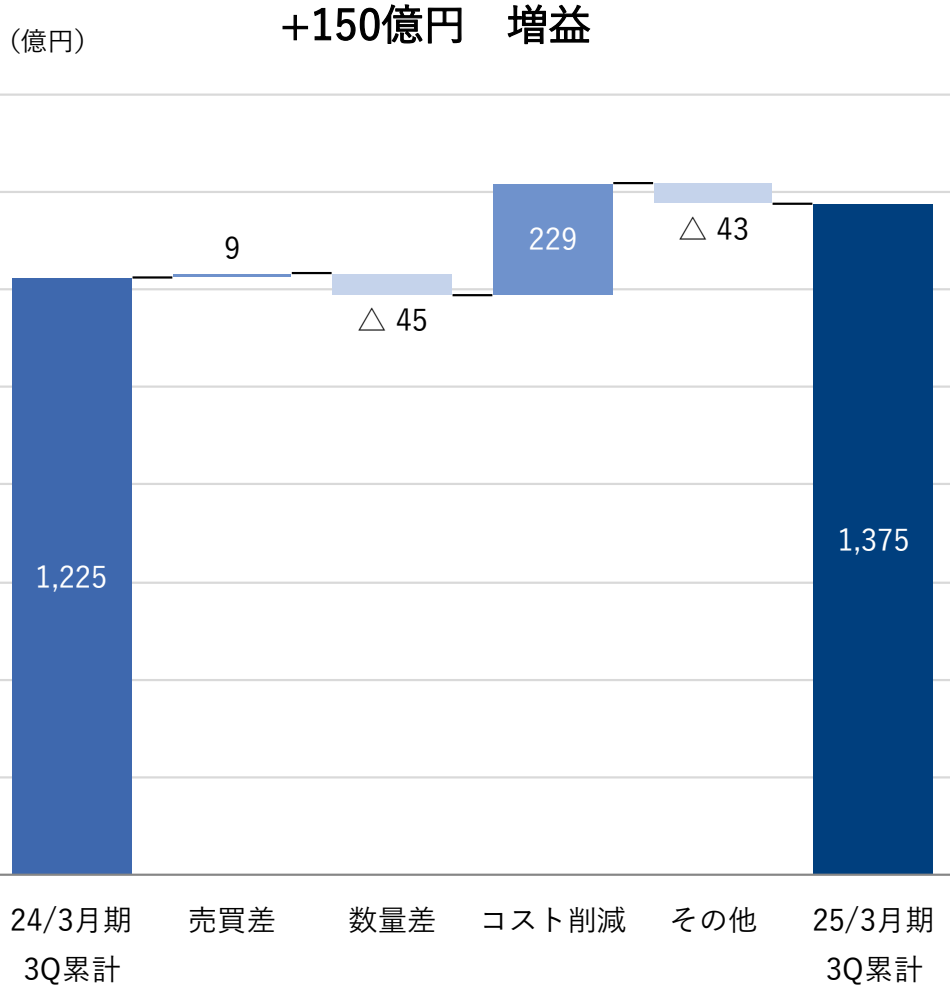
数量差

- (+) 北米でのALS治療薬ラジカヴァ経口剤の販売伸長
- (+) マンジャロの販売伸長
- (+) 5種混合ワクチン ゴービックの順調な立ち上がり

その他

- (-) 労務費等の固定費増加
- (-) 販売経費の増加 等

産業ガスセグメント コア営業利益増減分析



産業ガス (+150)

数量差

(-) 日米を中心にガス需要軟調

コスト削減

(+) DX活用、プラント操業最適化などの生産性向上活動

その他

(-) 労務費等の固定費増加

非経常項目

(億円)

	24/3月期 3Q累計	25/3月期 3Q累計	増減
非経常項目 合計	286	△ 577	△ 863
関係会社株式売却益	276	113	△ 163
排出枠売却益	-	27	27
工場閉鎖関連損失引当金戻入額	64	19	△ 45
固定資産売却益	16	16	△ 0
減損損失	△ 137	△ 429	△ 292
特別退職金	△ 12	△ 183	△ 171
固定資産除売却損	△ 24	△ 64	△ 40
解約違約金	△ 2	△ 33	△ 31
事業整理損失引当金繰入額	△ 17	△ 19	△ 2
事業整理損失	△ 42	△ 8	34
その他	164	△ 16	△ 180

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	24/3月期 3Q累計	25/3月期 3Q累計		24/3月期 3Q累計	25/3月期 3Q累計
営業活動によるCF	2,850	3,428	財務活動によるCF	△ 1,038	△ 1,535
税前損益	1,918	1,615	有利子負債	△ 310	△ 916
減価償却費	2,045	2,075	配当 他	△ 728	△ 619
営業債権債務	△ 183	100	現金及び現金同等物の増減	619	△ 217
棚卸資産	76	△ 282	為替換算差等	77	103
その他	△ 1,006	△ 80	合計	696	△ 114
投資活動によるCF	△ 1,193	△ 2,110			
設備投資	△ 1,975	△ 2,438			
資産売却	715	382			
投融資 他	67	△ 54			
FCF	1,657	1,318			

連結財政状態計算書

(億円)

	24/3月末	24/12月末	増減
現金及び現金同等物	2,949	2,835	△ 114
営業債権	8,524	8,237	△ 287
棚卸資産	7,992	8,124	132
その他	2,451	2,306	△ 145
流動資産合計	21,916	21,502	△ 414
固定資産	25,244	25,378	134
のれん	8,329	8,494	165
投融資等	5,556	5,546	△ 10
非流動資産合計	39,129	39,418	289
資産合計	61,045	60,920	△ 125

(億円)

	24/3月末	24/12月末	増減
有利子負債	23,382	22,838	△ 544
営業債務	5,015	4,581	△ 434
その他	9,893	9,887	△ 6
負債合計	38,290	37,306	△ 984
資本金・剰余金等	15,029	15,210	181
その他の資本の構成要素	2,606	2,869	263
親会社の所有者に帰属する持分	17,635	18,079	444
非支配持分	5,120	5,535	415
資本合計	22,755	23,614	859
負債・資本合計	61,045	60,920	△ 125
ネット有利子負債 *1	20,433	20,003	△ 430
ネットD/Eレシオ	1.16	1.11	△ 0.05
ROE *2	7.2%	-	-

*1 ネット有利子負債(24/12月末)

=有利子負債22,838億円 - (現金・現金同等物2,835億円 + 手元運用資金残高-) 注) 有利子負債はリース負債を含む

*2 親会社所有者帰属持分当期利益率

事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移



(億円)

		24/3月期					25/3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	累計
全社	売上収益	10,612	10,887	10,952	11,421	43,872	11,294	11,127	10,894	33,315
	コア営業利益	508	688	643	242	2,081	826	898	748	2,472
スペシャルティマテリアルズ	売上収益	2,626	2,576	2,567	2,669	10,438	2,769	2,659	2,700	8,128
	コア営業利益	99	89	6	△ 120	74	115	130	99	344
アドバンスフィルムズ&ポリマーズ	売上収益	1,181	1,158	1,136	1,116	4,591	1,204	1,188	1,192	3,584
	コア営業利益	86	80	42	△ 25	183	92	103	100	295
アドバンスソリューションズ	売上収益	887	888	926	928	3,629	883	869	918	2,670
	コア営業利益	5	23	4	△ 26	6	31	41	35	107
アドバンスコンポジット&シェイプス	売上収益	558	530	505	625	2,218	682	602	590	1,874
	コア営業利益	8	△ 14	△ 40	△ 69	△ 115	△ 8	△ 14	△ 36	△ 58
MMA&デリバティブズ	売上収益	844	864	858	914	3,480	1,081	1,085	923	3,089
	コア営業利益	1	31	△ 6	29	55	109	158	59	326
MMA	売上収益	633	646	637	696	2,612	843	851	694	2,388
	コア営業利益	△ 1	27	△ 9	24	41	98	149	56	303
コーティング&アディティブス	売上収益	211	218	221	218	868	238	234	229	701
	コア営業利益	2	4	3	5	14	11	9	3	23
ベーシックマテリアルズ&ポリマーズ	売上収益	2,649	2,743	2,831	2,842	11,065	2,684	2,636	2,418	7,738
	コア営業利益	△ 96	△ 61	8	△ 105	△ 254	△ 72	△ 41	△ 8	△ 121
マテリアルズ&ポリマーズ	売上収益	1,797	2,029	2,117	2,085	8,028	1,934	1,965	2,050	5,949
	コア営業利益	△ 60	4	32	△ 36	△ 60	11	39	42	92
炭素	売上収益	852	714	714	757	3,037	750	671	368	1,789
	コア営業利益	△ 36	△ 65	△ 24	△ 69	△ 194	△ 83	△ 80	△ 50	△ 213
その他	売上収益	406	516	368	758	2,048	360	428	423	1,211
	コア営業利益	3	3	△ 17	24	13	15	△ 23	11	3
ケミカルズ事業	売上収益	6,525	6,699	6,624	7,183	27,031	6,894	6,808	6,464	20,166
	コア営業利益	7	62	△ 9	△ 172	△ 112	167	224	161	552
ファーマ	売上収益	1,019	1,174	1,186	993	4,372	1,125	1,200	1,166	3,491
	コア営業利益	100	224	230	9	563	185	229	131	545
産業ガス	売上収益	3,068	3,014	3,142	3,245	12,469	3,275	3,119	3,264	9,658
	コア営業利益	401	402	422	405	1,630	474	445	456	1,375
グループ事業	売上収益	4,087	4,188	4,328	4,238	16,841	4,400	4,319	4,430	13,149
	コア営業利益	501	626	652	414	2,193	659	674	587	1,920

* 25/3月期よりセグメントを、「スペシャルティマテリアルズ」、「産業ガス」、「ファーマ」、「MMA&デリバティブズ」、「ベーシックマテリアルズ&ポリマーズ」、「その他」へ変更しております。あわせて、一部の事業の所管セグメントを見直しており、比較情報としての24/3月期実績を組み替えております。

* セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

* 24/3月期実績の新セグメントベースの組替後実績値を精査した結果、5/15発表時点の数値から一部変更しております。

* 2024年11月に公表した「新中期経営計画 2029」と整合させ、セグメントの記載順序を当3Qより変更しております。

参考資料①

スペシャリティマテリアルズ

- 半導体デバイスの微細化に伴うArF用及びEUV用フォトレジストの需要拡大に対応するとともにサプライチェーンの強靱化を図るため、九州事業所・福岡地区において、フォトレジスト用感光性ポリマー「リソマックス™」の生産能力を増強することを決定しました。ArFフォトレジスト用「リソマックス™」の生産能力を2倍以上に増強するとともに、EUVフォトレジスト用「リソマックス™」の量産を新たに開始します。稼働時期は、ArFフォトレジスト用「リソマックス™」は2025年10月、EUVフォトレジスト用「リソマックス™」は2025年9月を予定しています。
- 事業ポートフォリオ改革の一環として、トリアセテート繊維事業を株式会社G S Iクレオスへ譲渡することで同社と合意し、株式譲渡契約を2024年9月に締結しました。2025年3月の譲渡を予定しています。
- 半導体の製造工程に使用される超純水製造用のイオン交換樹脂について、九州事業所 福岡地区の生産能力を増強することを2024年10月に決定しました。2026年4月の稼働を予定しています。
- 液晶ディスプレイの画面サイズの大型化に伴う需要増加と高品質要求に対応するため、偏光板向け光学用ポリビニルアルコール（PVOH）フィルム「OPLフィルム™」の生産設備を、中日本事業所 大垣（神田）地区で増設（生産能力：2,700万㎡/年）することを決定しました。2027年度下期の稼働を予定しており、増設後の合計生産能力は15,400万㎡/年となります。
- 半導体精密洗浄事業において、福島工場を新設し、岩手工場を増強することを決定しました。いずれも2026年10月の稼働を予定しています。
- 半導体の製造工程に使用される合成石英粉について、九州事業所 福岡地区の生産能力を+35%増強することを決定しました。2028年9月の稼働を予定しています。

スペシャリティマテリアルズ

- 車載用途リチウムイオン電池向け負極材のサプライチェーンの強化及びカーボンニュートラルに向けた取り組み強化のため、リチウムイオン電池向け負極材について、人造黒鉛系グレードの性能を上回る天然黒鉛系グレードを開発し、香川事業所で生産能力を増強（生産能力：11,000トン/年）することを2024年12月に決定しました。2026年10月の稼働を予定しています。

ベーシックマテリアルズ&ポリマーズ

- 2024年5月に公表した「西日本におけるエチレン製造設備のカーボンニュートラル実現に向けた3社連携の検討開始」について、これまでの議論の初期的評価を踏まえ、地区を跨ぐ連携においても意義があることを確認できたため、共同事業体の設立を前提に、西日本におけるエチレン製造設備のグリーン化ならびに将来の能力削減も含めた生産体制最適化をさらに深く検討していくことを旭化成株式会社及び三井化学株式会社と合意しました。
- 香川事業所で有するコークス炉250門を150門に縮小することを2024年8月に決定しました。2025年3月末までに対象となる100門での生産を終了する予定です。加えて、国内外の販売ポートフォリオの見直しや追加の合理化策等を実施し、市況変動に左右されない事業構造へ転換します。本構造改革に伴い、炭素事業は2026年3月期からの黒字化をめざします。なお、当社グループ全体の事業ポートフォリオにおける同事業の中長期的な位置づけに関しては、本構造改革を着実に推進し引き続き検討してまいります。
- 事業ポートフォリオ改革の一環として、コークス及び副産物の製造並びに販売を行う関西熱化学株式会社の当社グループが保有する全株式を、株式会社神戸製鋼所に譲渡することを2024年9月に決定し、同年10月に譲渡を完了しました。

ファーマ

- 米国食品医薬品局より、米国製品「RADICAVA ORS®」（一般名：エダラボン）のALS（筋萎縮性側索硬化症）治療用途に関して、2022年5月12日の「RADICAVA ORS®」承認から7年間の希少疾病用医薬品排他的承認を2024年3月に受けました。
- 田辺三菱製薬株式会社は、グローバル市場で成長する企業をめざし、「成長戦略実行に必要なケイパビリティを持つ人員」の配置、「専門性の高い人材、多様な人材が活躍できる組織」の実現に向けた人材ポートフォリオの見直しを加速させるため、希望退職制度の実施を2024年7月に公表しました。
- パーキンソン病治療薬候補品であるND0612について、米国食品医薬品局（FDA）より審査完了報告通知（CRL）を受領しておりましたが、CRLで指摘されたND0612の成分の一つであるカルビドパの安全性に関する追加情報の提供や、製品の品質、デバイスおよび製造所の査察に関する追加情報についてFDAと協議し、再申請に向けた対応が確認できたことを受け、米国における開発計画を変更しました。2025年中頃の再申請をめざします。
- 持続性GIP/GLP-1受容体作動薬「ゼップバウンド®」について、日本イーライリリー株式会社が、肥満症*を効能・効果として、日本における製造販売承認を2024年12月に取得しました。なお、日本における「ゼップバウンド®」の提供については、両社が2型糖尿病治療薬として販売中で同分子の「マンジャロ®」同様、田辺三菱製薬株式会社が流通・販売を行い、日本イーライリリー株式会社と田辺三菱製薬株式会社が共同で情報提供活動を行います。

*ただし、高血圧、脂質異常症又は2型糖尿病のいずれかを有し、食事療法・運動療法を行っても十分な効果が得られず、以下に該当する場合に限る。

- BMIが27 kg/m²以上であり、2つ以上の肥満に関連する健康障害を有する
- BMIが35 kg/m²以上

産業ガス

- オーストラリアにおいて、Wesfarmers Chemicals, Energy and Fertilisers社のLPG事業を担うWesfarmers Kleenheat Gas Pty Ltd（以下「Kleenheat社」）のウェスタンオーストラリア州とノーザンテリトリー州のLPG販売事業を取得することについて、Kleenheat社と売買契約書を2024年5月に締結しました。
- エンジニアリング能力を追求・強化するため、プロセス及び分離技術ソリューションにおいて高い専門知識を持つプラントエンジニアリング会社Polarisへの投資を2024年10月に合意しました。
- Wesfarmers Limited社（以下「Wesfarmers」）の傘下であり、オーストラリア及びニュージーランドにて産業ガス事業を展開する、Coregas Pty Ltd、Blacksmith Jacks Pty Ltd及びCoregas NZ Limited（以下、総称して「Coregas Group」）を買収することにつきWesfarmersと合意に至り、Coregas Groupの全株式の取得に関する契約書を2024年12月に締結しました。2025年半ばの買収完了を予定しています。
- スペインにおける在宅医療・呼吸器事業の強化のため、Corporación Químico-Farmacéutica Esteve（以下「CQFE」）及びTeijin Holdings Europe BV（以下「Teijin」）と、Esteve Teijin Healthcare（以下「ETH」）を買収することにつきCQFE及びTeijinと合意に至り、ETHの全株式の取得に関する契約書を2024年12月に締結いたしました。スペインの国家市場競争委員会による承認を取得し次第、株式取得を完了する予定です。

その他

- 昨今の企業内保険代理店を取り巻く経営環境の変化に鑑み、保険代理店事業を、エーオンジャパン株式会社に譲渡することを2024年11月に決定しました。2025年3月の譲渡を予定しています。
- 保有資産の適正化を図る観点から、不動産賃貸・管理事業の一部と当該事業に関連する保有不動産を、株式会社日本エスコンに譲渡することを2024年12月に決定しました。2025年4月の譲渡を予定しています。

連結損益計算書 四半期別推移



為替レート (¥/\$)

139.6 145.6 146.1 149.9 145.3 158.2 146.7 154.2 153.0

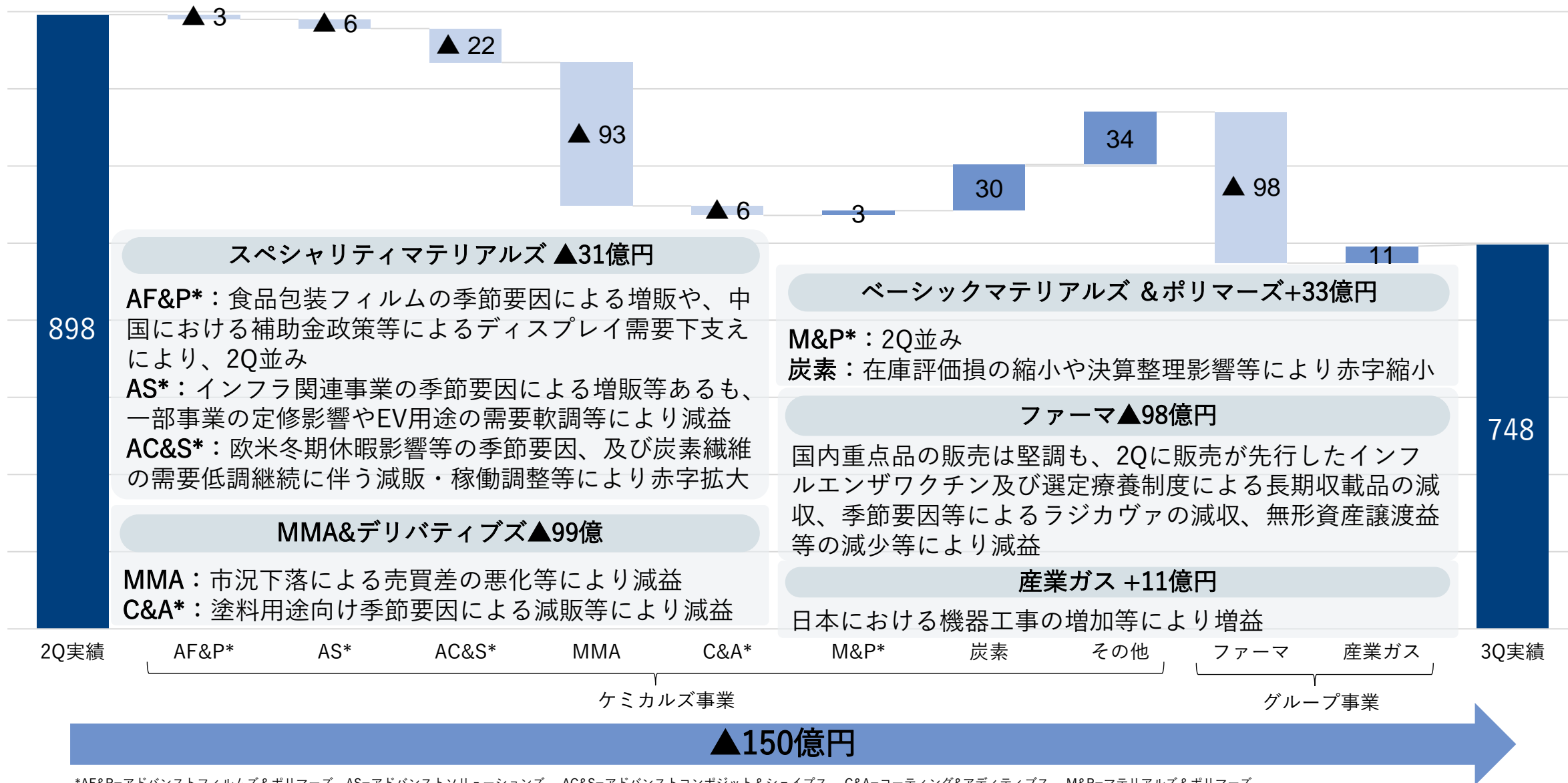
ナフサ単価 (¥/kl)

67,500 63,600 72,800 72,500 69,100 79,000 76,900 73,200 76,300

(億円)

	24/3月期					25/3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	累計
売上収益	10,612	10,887	10,952	11,421	43,872	11,294	11,127	10,894	33,315
コア営業利益 *1	508	688	643	242	2,081	826	898	748	2,472
非経常項目	189	1	96	251	537	24	△ 381	△ 220	△ 577
営業利益	697	689	739	493	2,618	850	517	528	1,895
金融収益・費用	△ 9	△ 75	△ 123	△ 6	△ 213	△ 80	△ 226	26	△ 280
（内、受取配当金）	(46)	(1)	(13)	(2)	(62)	(24)	(1)	(11)	(36)
（内、為替差損益）	(45)	(27)	(△ 42)	(45)	(75)	(42)	(△ 130)	(109)	(21)
税引前利益	688	614	616	487	2,405	770	291	554	1,615
法人所得税	△ 130	△ 231	△ 114	△ 146	△ 621	△ 207	△ 142	△ 198	△ 547
当期利益	558	383	502	341	1,784	563	149	356	1,068
親会社の所有者に帰属する 当期利益	425	247	367	157	1,196	397	12	185	594
非支配持分に帰属する当期利益	133	136	135	184	588	166	137	171	474
*1 内、持分法投資損益	27	15	23	11	76	19	12	40	71

コア営業利益増減分析（2Q実績→3Q実績）



*AF&P=アドバンスフィルムズ&ポリマーズ、AS=アドバンスソリューションズ、AC&S=アドバンスコンポジット&シェイプス、C&A=コーティング&アディティブス、M&P=マテリアルズ&ポリマーズ

事業セグメント別 コア営業利益推移

(億円)

	24/3月期 実績	25/3月期 3Q累計	25/3月期 予想 (11/1発表)	30/3月期 目標
全社	2,081	2,472	2,900	5,700
スペシャリティマテリアルズ	74	344	340	1,440
アドバンスフィルムズ&ポリマーズ	183	295	300	560
アドバンスソリューションズ	6	107	80	460
アドバンスコンポジット&シェイプス	△ 115	△ 58	△ 40	420
MMA&デリバティブズ	55	326	450	540
MMA	41	303	430	450
コーティング&アディティブス	14	23	20	90
ベーシックマテリアルズ&ポリマーズ	△ 254	△ 121	△ 210	440
マテリアルズ&ポリマーズ	△ 60	92	40	410
炭素	△ 194	△ 213	△ 250	40
その他	13	3	△ 30	△ 30
ケミカルズ事業	△ 112	552	550	2,390
ファーマ	563	545	610	1,070
産業ガス	1,630	1,375	1,740	2,240
グループ事業	2,193	1,920	2,350	3,310

* 産業ガス事業の30/3月期目標に関しては、日本酸素ホールディングス株式会社が2022年に策定した「NS Vision 2026」を基に、継続的な需要成長および価格マネジメント、生産性向上等の効果を織り込み、三菱ケミカルグループ株式会社が独自に推定。

事業セグメント別 コア営業利益率推移

	24/3月期 実績	25/3月期 3Q累計	25/3月期 予想 (11/1発表)	30/3月期 目標
全社	5%	7%	6%	12%
スペシャリティマテリアルズ	1%	4%	3%	10%
アドバンスフィルムズ&ポリマーズ	4%	8%	6%	10%
アドバンスソリューションズ	0%	4%	2%	9%
アドバンスコンポジット&シェイプス	△5%	△3%	△2%	11%
MMA&デリバティブズ	2%	11%	11%	12%
MMA	2%	13%	13%	14%
コーティング&アディティブス	2%	3%	2%	8%
ベーシックマテリアルズ&ポリマーズ	△2%	△2%	△2%	4%
マテリアルズ&ポリマーズ	△1%	2%	0%	5%
炭素	△6%	△12%	△12%	3%
その他	1%	0%	△2%	△2%
ケミカルズ事業	△0%	3%	2%	8%
ファーマ	13%	16%	13%	24%
産業ガス	13%	14%	13%	15%
グループ事業	13%	15%	13%	17%

* 産業ガス事業の30/3月期目標に関しては、日本酸素ホールディングス株式会社が2022年に策定した「NS Vision 2026」を基に、継続的な需要成長および価格マネジメント、生産性向上等の効果を織り込み、三菱ケミカルグループ株式会社が独自に推定。

非経常項目 四半期別推移

(億円)

	24/3月期					25/3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	累計
非経常項目 合計	189	1	96	251	537	24	△ 381	△ 220	△ 577
関係会社株式売却益	56	18	202	89	365	-	111	2	113
排出枠売却益	-	-	-	-	-	27	-	-	27
工場閉鎖関連損失引当金戻入額	-	-	64	56	120	13	△ 6	12	19
固定資産売却益	7	1	8	-	16	15	-	1	16
減損損失	△ 0	△ 32	△ 105	△ 101	△ 238	△ 8	△ 268	△ 153	△ 429
特別退職金	△ 2	△ 2	△ 8	△ 8	△ 20	-	△ 179	△ 4	△ 183
固定資産除売却損	△ 11	△ 2	△ 11	△ 73	△ 97	△ 12	△ 16	△ 36	△ 64
解約違約金	-	△ 0	-	△ 3	△ 3	-	-	△ 33	△ 33
事業整理損失引当金繰入額	△ 4	△ 1	△ 12	△ 1	△ 18	-	△ 18	△ 1	△ 19
事業整理損失	△ 20	△ 7	△ 15	△ 6	△ 48	△ 3	△ 3	△ 2	△ 8
その他	163	26	△ 27	298	460	△ 8	△ 2	△ 6	△ 16

主な市場動向

市場	主要製品	2025年3月期 第3四半期 概況	2025年3月期 第4四半期以降 見通し
EV/モビリティ	電解液 繊維強化プラスチック・複合材料 コンパウンド	国内や欧米における生産減による影響により、一部地域を除き、グローバルで需要成長に減速感が見られる	2025年のグローバルでの自動車生産は弱含む見通し。中長期的には総じて緩やかな成長継続を見込む
半導体	高機能洗浄剤・洗浄サービス エポキシ樹脂 半導体装置パーツ フォトリソグラフィ関連材料	AI等の最先端半導体プロセス向けは好調も、産業機械、民生機器（家電）及び自動車用途等は低調に推移	AI等の最先端半導体プロセス向けは好調継続 産業機械、民生機器（家電）及び自動車用途等も2025年後半以降緩やかな回復を見込む 中長期的には一層の需要拡大により市場成長は続く見通し
エレクトロニクス	光学用フィルム ディスプレイ関連材料	中国における補助金政策の効果や、米国の関税引上げ前の需要増加もありパネルメーカーは高稼働継続	パネルメーカーの高稼働は2025年度第1四半期にかけて継続する見込み 中長期的にはTVの大型化に伴い堅調な需要継続
メディカル	インプラント用樹脂・素材	一部製品で顧客の在庫調整局面も、グローバル全体では堅調に推移	一部製品での在庫調整は2025年度第1四半期にかけて継続する見込み 中長期的には高齢化人口の増加、生活習慣病や慢性疾患の罹患率の増加により市場成長は続く見通し
食品	乳化剤 包装フィルム 包装材料	インフレの影響等によりグローバルで食品包装材市場は軟調に推移	食品包装材市場はグローバルで需要が緩やかに復調 中長期的にはフードロス削減等のニーズを背景に需要拡大を見込む

参考資料②

ファーマセグメント 研究開発の状況 等

主な開発パイプライン 一覧

2025年1月25日現在

領域	治験コード	開発地域	適応症 / 特徴	P1	P2	P3	申請	承認
中枢神経	ND0612	グローバル	パーキンソン病					
	MT-3921	グローバル	脊髄損傷					
	MT-0551	日本 ^{*1}	重症筋無力症					
免疫炎症	MT-7117	グローバル	赤芽球性プロトポルフィリン症 (EPP) X連鎖性プロトポルフィリン症 (XLP)					
		グローバル	全身性強皮症					
	MT-0551	日本 ^{*1}	IgG4関連疾患					
がん	MT-2111	日本	再発又は難治性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫 (単剤療法)					
		日本 ^{*2}	再発又は難治性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫 (リツキシマブとの併用療法)					

*1アムジェン社と共同開発

*2 ADCセラピューティクス社と共同開発

主な開発パイプラインの上市計画


	25/3月期	26/3月期	27/3月期以降
中枢神経		ND0612 パーキンソン病 (グローバル)	MT-0551 重症筋無力症 (日本*1)
免疫炎症			MT-0551 IgG4関連疾患 (日本*1)
			MT-7117 EPP, XLP (グローバル)
糖尿病・腎	カナグルOD錠 2型糖尿病、2型糖尿病を合併する 慢性腎臓病*2 (日本)	カナリア配合OD錠 2型糖尿病*3 (日本)	
がん			MT-2111 再発又は難治性びまん性大細胞型 B細胞リンパ腫 (単剤療法) (日本)
			MT-2111 再発又は難治性びまん性大細胞型 B細胞リンパ腫 (リツキシマブと の併用療法) (日本*4)

*1 アムジェン社と共同開発

*2 2型糖尿病を合併する慢性腎臓病 ただし、末期腎不全又は透析施行中の患者を除く

*3 2型糖尿病 ただし、テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物及びカナグリフロジン水和物の併用による治療が適切と判断される場合に限る

*4 ADCセラピューティクス社と共同開発

 : グローバル (米国上市年度)

 : 日本

 : 上市済み

医薬品事業 損益計算書 (2025年3月期 3Q実績)

(億円)

	24/3月期		25/3月期		増減	増減率
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計		
売上収益	1,186	3,380	1,166	3,492	112	3.3%
国内	838	2,413	843	2,451	39	1.6%
海外	348	967	323	1,040	73	7.6%
海外売上比率	29.3%	28.6%	27.7%	29.8%		
売上原価	552	1,644	625	1,728	84	5.1%
売上原価率	46.5%	48.6%	53.6%	49.5%		
売上総利益	634	1,736	541	1,764	28	1.6%
販管費等	404	1,178	411	1,219	41	3.4%
研究開発費	156	455	152	459	4	1.0%
コア営業利益	231	558	131	545	△ 13	△ 2.3%
非経常項目	△ 9	112	7	△ 132	△ 244	
営業利益	222	669	137	413	△ 256	△ 38.3%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	142	516	103	279	△ 236	△ 45.8%

* 当期において、為替レートの変動により、売上収益で約+54億円、コア営業利益で約+33億円の影響がありました。

医薬品 製品別売上収益（2025年3月期 3Q実績）

(億円)

	24/3月期		25/3月期		増減	増減率
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計		
国内医療用医薬品	813	2,340	814	2,374	34	1.5%
重点品・新製品	464	1,325	436	1,248	△ 78	△ 5.9%
ステラーラ	175	514	153	456	△ 58	△ 11.4%
シンポニー	115	340	109	325	△ 15	△ 4.4%
テネリア	37	92	38	87	△ 5	△ 5.9%
カナグル	32	93	31	92	△ 1	△ 0.8%
カナリア	27	82	23	58	△ 24	△ 28.7%
バフセオ	6	18	6	18	0	1.6%
ユプリズナ	20	45	35	82	37	81.0%
ルパフィン	24	61	24	62	1	1.7%
ジスバル	13	38	0	18	△ 20	△ 52.7%
ラジカット	16	42	17	49	8	18.3%
ワクチン	101	287	104	380	93	32.2%
インフルエンザ	46	113	16	135	22	19.2%
ゴービック	-	-	46	114	114	
テトラビック	23	69	7	22	△ 48	△ 68.8%
ジェービックV	8	25	8	26	1	3.0%
ミールビック	10	38	14	41	4	9.8%
水痘ワクチン	11	31	10	30	△ 1	△ 3.9%
長期収載品等	248	727	273	746	19	2.6%
レミケード	78	236	62	186	△ 50	△ 21.1%
海外医療用医薬品	279	838	293	949	110	13.2%
ラジカヴァ	200	598	224	731	132	22.1%
ロイヤリティ収入等	72	139	31	99	△ 40	△ 28.6%
インヴォカナ ロイヤリティ	14	44	17	53	9	20.4%
ジレニア ロイヤリティ	34	53	9	30	△ 23	△ 42.8%

ここで記す「説明会」とは、三菱ケミカルグループ株式会社（以下、「当社」）によって説明または配布された本資料、口頭でのプレゼンテーション、質疑応答及び書面または口頭等の資料を含みます。

本説明会および本資料における見通しは、現時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、業績予想と大きく異なる可能性があります。

当社グループは各種機能商品、MMA、石化製品、炭素製品、産業ガス、医薬品等、非常に多岐に亘る事業を行っており、その業績は国内外の需要、為替、ナフサ・原油等の原燃料価格や調達数量、製品市況の動向、技術革新のスピード、薬価改定、製造物責任、訴訟、法規制等によって影響を受ける可能性があります。但し、業績に影響を及ぼす要素はこれらに限定されるものではありません。

なお、医薬品（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイスを目的とするものではありません。